

問1 私たちが普段使っている地図では、上の方をどの方角として表すという約束がありますか。

1. 東 2. 北 3. 南 4. 西

問2 地図の中で、その場所にある建物や施設の種類の一目でわかるように、簡単な形であらわしたものを何といいますか。

1. 地図記号 2. 土地の図 3. 建物のしるし 4. 図形マーク

問3 海の近くの土地は、どのような施設が集まって産業の拠点（中心）になることが多いでしょうか。

1. 学校と公園 2. 神社と寺 3. 畑と牧場 4. 港と工場

問4 地図にある「方位記号（ほういきごう）」は、何のために使われるでしょう。

1. 目的地の高さを調べるため 2. 東西南北（とうざいなんぼく）の向きをたしかめるため 3. 地図をきれいに折りたたむため 4. 建物の大きさを比べるため

問5 地図の上で、建物や場所の種類を一目でわかるようにした記号のことを何といいますか。

1. 場所のしるし 2. 目じるし記号 3. 施設マーク 4. 地図記号

問6 みんなが安全で快適に暮らすために、市や町などが作っている「図書館」や「消防署」のような施設のことを何といいますか。

1. 観光スポット 2. 商業ビル 3. 私有地 4. 公共施設

問7 地図で、北・南・東・西の4つの方向のことをまとめて何というでしょう。

1. 地図記号 2. 等高線 3. 四方位 4. 縮尺

問8 地図を見るときの方角として、地図の上の方角はどの方角を指しているでしょう。

1. 南 2. 東 3. 北 4. 西

問9 地図の上側が北になるように置いたとき、地図の右側が指している方位はどこでしょう。

1. 西 2. 北 3. 南 4. 東

問10 北を向いてまっすぐ立ったとき、右手の方向にあたるのはどの方角でしょうか。

1. 北 2. 東 3. 南 4. 西

問11 地図で「上が北」という約束がある理由として、もっとも適切なものはどれですか。

1. 地球が北を向いているから 2. 北のほうが南より高い場所だから 3. 北極に人が住んでいないから 4. 世界中の人が同じように方角を知るため

問12 海の近くの平らな土地に、港や工場が多くつくられるのはなぜでしょうか。

1. 広い砂浜があって、海水浴場をつくりやすいから 2. 高い山が近くにあると、景色がきれいだから 3. 天気がいつも良くて、作物がよく育つから 4. 船を使って、材料や製品を運ぶのに便利だから

問13 地図上で「開いた本」の形をしている地図記号は、何という施設を表していますか。

1. 図書館 2. 学校 3. 郵便局 4. 市役所

問14 地図記号を使って、建物や地形を地図に表すのはなぜですか。その理由として最も適切なものを選びましょう。

1. 名前をすべて書くと地図が汚れるから 2. 難しい漢字を書く練習をするため 3. 狭い地図の上でも、どんな施設があるか一目でわかるようにするため 4. 地図をかつこよく見せるため

問15 地図記号の形を決めるために、最も大切にされている考え方はどれですか。

1. 書くのが一番かんたんな形にする 2. 地図をにぎやかに見えるようにする 3. 実際の建物の形に似せたり、意味がわかるようにする 4. だれも知らないような不思議な形にする

問16 地域の人々が利用するために、市が運営している施設を何といいますか。

1. ショッピングモール 2. 遊園地 3. 公共施設 4. 個人の家

問17 図書館、消防署、市役所といった公共施設は、どのような場所に建てられることが多いですか。

1. 特定の家族だけが住んでいる個人の家の中 2. 大きな工場しかない工業地帯 3. 人がめったにこない山の中 4. みんなが利用しやすい駅の近くや人の集まる場所

問18 地図上で、北と東の間の方角を何と呼ぶでしょう。

1. 北東 2. 南東 3. 北西 4. 南西

答え合わせ・解説 No.3

問1	答え 2 北	地図には、誰が見ても方角がわかるように「上を北にする」という共通の決まりがあります。このルールのおかげで、地図を使う人全員が同じ方向を北として読み取ることができます。
問2	答え 1 地図記号	地図記号は、地図を読みやすくするために、学校や神社、田んぼなどの建物や土地の様子を短い記号であらわしたものです。これを使うことで、実際にその場所へ行かなくても、地図を見るだけでどんな施設があるのかを知ることができます。
問3	答え 4 港と工場	海に面した平らな場所は、船の出入りに便利な「港」をつくるのに最適です。また、その港で受け取った材料ですぐに製品をつくり、すぐに船で運べるように、港のすぐ隣に「工場」が建てられることが多くあります。
問4	答え 2 東西南北（とうざいなんぼく）の向きをたしかめるため	方位記号は、地図の上がどちらの方角（基本は北）を指しているかを示す記号です。これを確認することで、地図の中で正しい東西南北の向きを知ることができます。
問5	答え 4 地図記号	地図記号は、建物や土地の様子などの種類を、地図の上の約束ごととして表したものです。これを知っていると、実際にその場所に行かなくても、地図を見るだけでどのような場所なのかをすぐに知ることができます。
問6	答え 4 公共施設	地域のみんが使うために作られた施設を公共施設といいます。図書館や消防署、市役所などは、住んでいる人全員が便利に利用できるように作られています。
問7	答え 3 四方位	北・南・東・西の4つの方向を「四方位（しほうい）」といいます。地図では、上が北、下が南、右が東、左が西になるのが基本です。
問8	答え 3 北	地図は、世界共通の約束として上側を「北」と決めています。北を上にすると、右側が東、左側が西、下側が南というように、方位が分かりやすくなります。
問9	答え 4 東	一般的な地図では、上が「北」となります。その場合、下は「南」、右は「東」、左は「西」と決まっています。この約束を知っておくと、地図を見たときにどの方向に何があるかを迷わずに読み取ることができます。
問10	答え 2 東	北を向いて立ったとき、自分の右側は東の方角になります。逆に左側は西、背中側は南にあたります。方位を知ることで、自分がどちらに向かって歩いているかを確認することができます。
問11	答え 4 世界中の人が同じように方角を知るため	地図は多くの人が使うものなので、見る人によって方角がバラバラにならないようにルールが決まっています。この約束を守ることで、地図上の場所と実際の方角を正しく合わせることができるようになります。
問12	答え 4 船を使って、材料や製品を運ぶのに便利だから	港があれば大きな船を接岸できるため、海外から材料を安くたくさん運んだり、完成した製品を遠くへ出荷したりするのにとても適しています。そのため、港のすぐ近くには、材料を使ってものづくりをする工場が集まるのが一般的です。
問13	答え 1 図書館	図書館は本がたくさんある場所であることから、開いた本の形をした記号が使われています。このように、地図記号はその施設の特徴を表す形になっていることが多いです。
問14	答え 3 狭い地図の上でも、どんな施設があるか一目でわかるようにするため	地図に建物の名前をすべて文字で書いてしまうと、文字が重なって見にくくなってしまいます。そのため、特定の施設を簡単な形（記号）に置き換えることで、限られたスペースでも情報を正しく伝える工夫がされています。
問15	答え 3 実際の建物の形に似せたり、意味がわかるようにする	地図記号は、見た人がすぐに「これは何の施設か」を理解できるように工夫されています。例えば、港（みなと）は船をつなぐ「いかり」の形をまねて作られていたり、田んぼは稲を刈り取ったあとの株（かぶ）の形をあらわしていたりと、意味や形が工夫されているため、一度覚えると地図を読むのが楽しくなります。
問16	答え 3 公共施設	公共施設は、市民みんなが利用するために市が運営している施設のことです。学校や図書館、公民館などが含まれ、市民みんなの大切な財産として、生活を支える役割を担っています。
問17	答え 4 みんなが利用しやすい駅の近くや人の集まる場所	公共施設は多くの市民が生活を送る中で、必要な時にすぐ利用できるよう、アクセスの良い場所や人が集まりやすい場所に設置されています。
問18	答え 1 北東	基本となる北・東・西・南の四つの方角だけでなく、その中間の方向を指す言葉もあります。北と東の間は「北東」、北と西の間は「北西」、南と東の間は「南東」、南と西の間は「南西」と呼びます。